

平成27年度白石市まちづくり交付金事業実績

平成27年度に採択された白石市まちづくり交付金16件の事業実績について報告します。

□沢端川周辺環境美化整備事業（沢端川の環境を守り鯉を育てる会）

環境美化および観光振興に寄与するため、多くの観光客が訪れる白石城や武家屋敷への散策路となっている沢端川周辺の環境整備を行い、剪定および桜の植栽等を行いました。観光客の回遊ルートとしてさらに価値が高まり、観光シーズンには多くの観光客が訪れました。



▲神石白石の松を剪定しました



▲桜の苗木を植栽しました

□鷹巣第5公園緑化植栽事業（鷹巣自治会）

地域のコミュニケーションの場を創出し、活性化を図るとともに、第5次白石市総合計画白石地区まちづくり宣言の実現に向けて、市の「花と緑のまちづくり」事業に賛同し、鷹巣第5公園の緑化事業に取り組みました。この活動を通して地区民同士の親睦がさらに深まりました。



▲6月の植栽活動の様子



▲植栽後の公園の様子



▲植栽後にみんなで記念撮影

□上郡山地区桜等整備事業（上郡山自治会館運営委員会）

上郡山第一・第二自治会の住民の相互親睦を図り信頼関係の構築をより一層深めるために、融和のシンボルである自治会館の桜の剪定及び国道113号沿いの花壇に花を植栽しました。この活動を通して、地区民同士の親睦がさらに深まりました。



▲5月の植栽活動の様子



▲植栽後の花壇の様子

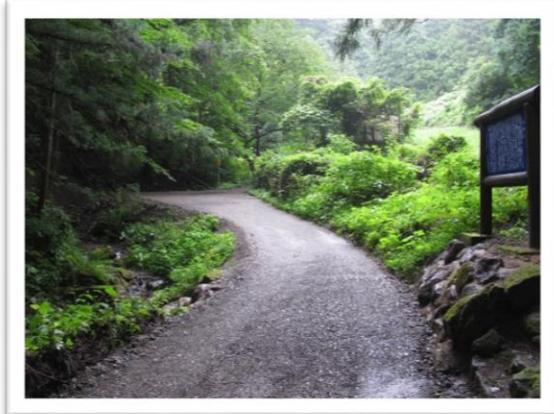


▲植栽後にみんなで記念撮影

□乳神様参道整備工事（越河第一自治会）

地域の資源を活かし、地域の活性化を図るため、地区内の名所旧跡の一つであり山深いところにある「乳神様」までの参道は、道路事情が悪い状態でした。そこで、来訪者の利便に供するため、参道を整備しました。

乳神様：昔から豊富な母乳を求め、女性の崇拝を集めていた。昨今は子宝に恵まれるようにと参拝する方が後を絶たない。



▲乳神様前の参道を整備しました



【整備箇所（乳神様）位置】

□斎川夏まつり盆踊り大会（斎川夏まつり実行委員会）

より一層の交流を図り、地域の活性化に繋げるため、伝統ある夏まつりを開催しました。交付金は、高齢化により組み立てが困難になったやぐらのレンタル・組み立て、仮設電気配線工事に充てられました。



▲雨天のため、斎川小学校の体育館で実施しました



▲老若男女や帰省中の方など、多くの参加者で賑わいました

□「斎川名所旧跡見どころマップ」看板設置（斎川まちづくり協議会）

地区民への郷土の歴史の再認識と周知を図り、地区の振興と活性を図るため、斎川地区内にある名所・旧跡の案内看板1基を馬牛沼産直センターに設置しました。



▲設置した案内看板



▲国道4号沿いにある「馬牛沼産直センター」脇に設置

□逆さケヤキ歩道の案内板設置並びに入口案内板の補修事業（大平公民館運営会議）

逆さケヤキの歩道の環境を整備し、来訪者の利便を図り、地域活性化の一助とするため、地区のシンボルである逆さケヤキへの訪問者が道に迷わないよう方向案内板を設置しました。また、歩道脇の信仰碑・供養碑の案内名所表示の設置と、老朽化した登り口の案内板の屋根を補修しました。



▲間違えやすい場所に方向案内板を設置



▲入口にある案内看板の修理及び清掃をしました

□神楽装束整備事業（榊流大町神楽継承会）

平成18年5月に白石市指定民俗文化財となった榊流大町神楽*を継承するため、老朽化により修繕不能な大拍子太鼓1台を購入し、現在もさらなる継承に努めています。

※榊流大町神楽とは・・・

明治初期、大町村の佐藤市郎治氏、佐藤市郎兵衛氏、佐藤彦四郎氏、谷津安治氏、大槻伝吉氏、佐藤留五郎氏の6人が伊勢参りに出かけた際、拝観した優雅な神宮神楽に魅せられ丸森神楽の伝習を受け、私費を持ち寄り用具用品の調達を始め、錬磨を図り、12幕をつくり上げたと言われている。毎年春の大鷹沢八幡神社、春の白石神社、秋の大鷹沢三沢熊野神社の祭典奉納を始め、地区の敬老会や文化祭などで公演を行っている。



▲購入した太鼓を使用して平成27年10月3日の第8回鬼小十郎まつりで神楽を披露していただきました

□大鷹沢ふるさと整備事業（大鷹沢まちづくり振興協議会）

先人がつくった多くの歴史的資源を多くの市内外の方々に知っていただき、大鷹沢地区の一層の振興と活性化のため、大鷹沢公民館に名所旧跡等の案内看板1基を設置しました。



▲大鷹沢公民館に設置した案内看板（表）



▲設置した案内看板（裏）

□白川夏まつり大会（白川夏まつり実行委員会）

より一層の交流を図り、地域の活性化に繋げるため、交付金を、舞台組立工事費、音響設備レンタル料に充て、夏祭りを開催しました。当日は、多くの老若男女がつどい楽しいひと時を過ごしました。



▲設置された舞台



▲思い思いの姿で祭りを楽しむ参加者

□白石薬師堂ホタルの里を継承する事業（白石薬師堂ホタルの里を守る会）

ホタルが舞う清らかな自然環境を作り次の世代へ引き継いでいくために、ホタルの再生に実績のある専門の講師を招き、ホタルの生育環境調査を行いながら成虫を増やす取り組みを行いました。また、ホタル祭りでは、多くの来場者に自然環境保護の大切さを訴え、一層の地域振興が図られました。



▲ホタル祭りでのアトラクションの様子



▲ホタル祭りで道路に設置された手作り灯籠

□花と緑の地域づくり事業（上原自治会）

地区住民の交流を深め、地区内を花で癒す花と緑の地域づくりを推進するため、県道 254 号沿いの花壇や地区内の交差点などに花を植栽しました。この活動を通して、地区民同士の親睦がさらに深まりました。



▲春の植栽の様子



▲秋の植栽の様子



▲植栽後の記念撮影の様子

□地区内の歴史伝承（山根自治会）

地域内にある『毘沙門天』の史跡の由来を伝達、周知するために、案内板を設置しました。これにより、地域内外問わず多くの方に周知でき、地区民同士の親睦もさらに深まりました。



▲看板の組み立て設置は地区民の協力により行いました



▲看板の内容も地区民が調べてまとめました

□深谷地区夏まつり大会（深谷夏まつり実行委員会）

以前までは深谷の一部の地区のみで開催だった夏まつりを、地区民全員が参加できる夏まつりにして3回目の実施となりました。地域の人たちの連携と協力により、当日は老若男女問わず多くの方の笑顔があふれ楽しいひとときとなり、子どもたちの楽しい思い出づくりと、地区民同士のさらなる交流により、地区内の活性化につながっています。



▲立派な櫓も設置



▲子どもたちに人気のヨーヨーや金魚すくい



▲会場は多くの方で賑わっていました

□三住出雲神社入口ミニ公園化事業（三住自治会）

平成25年度に三住の歴史や生活等を後世へ語り継ぐため案内板を設置し、26年度にはその周辺は高低差があるため、コンクリート擬木の柵を巡らし安全確保し、今回はその部分に砂利を敷きました。3年かけて整備したことで、ミニ公園の景観がさらに良くなり、公園の魅力を高めることができました。今後、地域の新たな憩いの場として、地域コミュニティのさらなる活性化を目指しています。



▲砂利を敷きました



【三住出雲神社入口ミニ公園位置図】

□検断屋敷まつり（小原地区活性化推進協議会）

地域資源の材木岩公園と検断屋敷を活用した「検断屋敷まつり」を実施し、交流人口の拡大が図られました。このことで、小原の自然景観や地場産品のPRにもつながり、地区住民に意識改革がおこり地域の活性化につながっています。



▲春の検断屋敷まつりのだるま落としゲーム



▲冬の検断屋敷まつりのだんご刺しの様子